

平成 23 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社テンポスバスターズ  
 代表者名 代表取締役社長 森下 和光  
 ( J A S D A Q ・ コード 2751 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部長 毛利 聡  
 電話 03-3736-0319

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 6 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 24 年 4 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 23 年 5 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	6,720	460	460	240	円 銭 6,065.97
今回修正 (B)	7,318	584	629	349	8,831.81
増減額 (B-A)	599	124	169	109	—
増 減 率 (%)	8.9	27.0	36.7	45.4	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 4 月期第 2 四半期)	5,850	413	452	210	5,319.68

(2) 通期 (平成 23 年 5 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	14,000	960	960	490	円 銭 12,384.68
今回修正 (B)	14,000	1,000	1,100	650	16,428.66
増減額 (B-A)	0	40	140	160	—
増 減 率 (%)	0	4.1	14.5	32.6	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 4 月期)	10,992	792	839	376	9,515.33

## 2. 平成24年4月期 個別業績予想の修正等

### (1) 第2四半期累計期間（平成23年5月1日～平成23年10月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	4,300	400	175	円 銭 4,369.54
今回修正（B）	4,569	444	240	5,992.51
増減額（B－A）	269	44	65	－
増減率（%）	6.2	11.0	37.1	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年4月期第2四半期）	4,204	392	163	4,083.97

### (2) 通期（平成23年5月1日～平成24年4月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	8,600	750	330	円 銭 8,239.70
今回修正（B）	8,600	820	430	10,736.58
増減額（B－A）	0	70	100	－
増減率（%）	0	9.3	30.3	－
（ご参考）前期実績 （平成23年4月期）	8,175	738	156	3,915.83

## 3. 修正の理由

### (1) 第2四半期累計期間の業績予想について

#### ・連結業績予想について

売上高につきましては、主に飲食店向け機器販売事業において、今期の方針である「中古2倍」「FBP化」「早期戦力化」のうち、「中古2倍」が計画を超えて推移した結果、リサイクル品の在庫品が多く集まり、「中古厨房のテナポス」という原点に立ち戻った営業を行うことができました。これにより、リサイクル品を軸にした店舗厨房一式案件の受注増となりました。また、安価で販売可能な輸入品のイステーブル等の販売も計画を上回り、業績へ大きく寄与いたしました。営業利益及び経常利益につきましては、飲食店向け機器販売事業の売上高増加に起因するものに加えて、飲食事業において、連結子会社である株式会社あさくまの業績が計画を大きく超えて推移している結果であります。株式会社あさくまは、立て直し時に行った商品原価や人件費の見直し等を継続的に行っており、その効果が顕著に表れる結果となりました。当期純利益につきましても、上記の通り業績の好調を受けて当初の計画よりも順調に推移しております。以上の結果により売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が計画を上回ったため業績予想を修正いたします。

#### ・個別業績予想について

飲食店向け機器販売事業における業績の80%以上は当社の占める割合であるため、上記の「・連結業績予想について」に記載のとおり、売上高、経常利益、当期純利益ともに計画を上回ったため業績予想を修正いたします。

### (2) 通期の業績予想について

連結及び個別の業績予想については、現在の経済情勢を鑑みるに、今後の出店計画や店舗での売上高に与える影響等が不確定ではありますが、第2四半期累計期間における業績予想の修正を加味した上で期末までの業績が、公表しているものよりも上積みされると見込むことができますので、連結及び個別について、営業利益、経常利益及び当期純利益の業績予想を修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上